

<小学校>

英語教育の充実に向けて

～活用資料編～

平成 32 年度の次期小学校学習指導要領実施に伴い、小学校英語教育は大幅な充実が図られることになっています。本冊子では、小学校英語教育充実に関する施策や議論などを参考に、指導體制や目標設定、教材及び学習内容のポイントを整理しています。「校内教員研修プログラム編」とともに、各学校の状況に合わせてご活用ください。



平成 29 年 3 月
神奈川県立総合教育センター

学習内容のポイント

アルファベット文字の認識

児童の生活経験をいかした教材と学習内容の充実を図る、学習の中で児童が自然に文字に触れる機会を作るなど、無理なく「読むこと」「書くこと」の学習を行うことが大切です。

また、「文字あり」と「文字なし」の2種類の絵カードを用意して意識的に使い分けると効果的です。



① 音声だけを聞かせる

➡ ② 絵を見せて聞かせる

➡ ③ 絵と文字の両方を見せて聞かせる

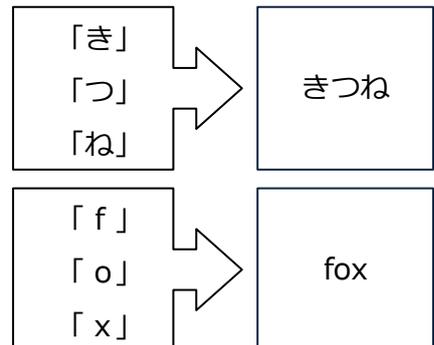
➡ ④ 復習として絵だけを見せ、子ども自身が発話できるか確認する

参考：岡秀夫・金森強編著『小学校外国語活動の進め方 「ことばの教育」として』（成美堂 2012）

日本語と英語の音声の違いやそれぞれの特徴への気付き

児童が外国語として知っている単語を、日本語との音声の違いに注目して聞かせ、違いを発表させるなど、児童の気付きを促すことが大切です。

平仮名は「き」と「つ」と「ね」を並べて、そのまま「きつね」と読めるけど、英語は…。



語順の違いなど文構造への気付き

自然と英語の語順を意識できるしかけを行うなど、児童の気付きを促すことが大切です。



The dog is chasing the cat.

追いかけている側は「dog」？
それとも「cat」？



資料の紹介（過去の成果物等）

神奈川県立総合教育センターのホームページ（<http://www.edu-ctr.pref.kanagawa.jp/>）では、英語教育に関する過去の研究成果物等を公開しています。
ここでは、その一部を紹介します。

はじめよう 楽しい英語活動 - 小学校英語活動 進め方のヒント -



小学校英語活動の目標、指導計画、授業実践、学校全体の取組について、具体的な事例を挙げながら解説し、各小学校で英語活動に取り組む上でのヒントを紹介しています。

小学校英語活動 15 - 子どもたちの積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するために -



子どもたちに英語を効果的に聞かせるために、「興味・関心や意欲」を重視して作成した英語活動集です。子どもたちが英語を聞いて反応するような活動を繰り返していくことで、英語に慣れ親しみ、また、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けることを目指したものです。

ニーズのある子どもたちに英語を教えよう！



総合教育センターのALTが作成した、支援の必要な子どもたちに対する英語の授業計画や教材です。ALTとのTeam Teachingでも使えるように英語と日本語の両方のデータ（word形式・pdf形式）を用意しました。

ゲームで英語を教えよう！



総合教育センターのALTが作成したゲーム集です。ALTとのTeam Teachingでも使えるように、英語と日本語の両方のデータ（word形式・pdf形式）を用意しました。

小学校英語教材集



この教材は、子どもたちが一日の大半を過ごす学校生活において、身近な英語を繰り返し聞いたり話したりすることによって、自然に英語表現を身に付けることを目的として開発した、小学校英語に関する教材です。



神奈川県立総合教育センター
善行庁舎
〒251-0871 藤沢市善行 7-1-1
TEL (0466) 81-0188【代表】
FAX (0466) 84-2040
ホームページ <http://www.edu-ctr.pref.kanagawa.jp/>

亀井野庁舎（教育相談センター）
〒252-0813 藤沢市亀井野 2547-4
TEL (0466) 81-8521【代表】
FAX (0466) 83-4500